

ペガサス分団活動

『駅近 自然観察できます』

～南与野で秋をさがそう～

令和2年10月25日(日)
さいたま支部ペガサス分団

今回は「駅近」。南与野駅から直線距離で半径1km以内での観察です。

南与野は、本壘古墳や日向古墳、真鳥山城や今宮館跡などの歴史的な史跡が多くあります。それは、地形や自然環境が大きな要因となっています。

なぜここに古墳があるのか、それは多くの方が暮らしていたからです。1300年以上前にこの辺りに多くの方が住んでいて、その人々をまとめる王がいたことが分かります。なぜ人が多くすんでいたか、それは西側の台地下に大きな川が流れていたからです。その川は「古入間川」といい、流域は舟による水運で栄えていました。江戸時代以来の河川改修で、今はありませんが、地形や古くからの道路、生えている樹木などから、かつての流れを推測することもできます。

次に、なぜここに武士の館跡が多いのか、それは政治的に重要な街道があったからです。南与野は鎌倉街道の羽根倉道が通っています。羽根倉道は、鎌倉三街道の一つ「上道」から東京都東村山で分岐し、志木・与野・上尾・伊奈を通過して栗橋付近で「中道」に合流します。昔は沼地を埋めたり、山を削ったりはできません。地形に合わせて、平坦な台地をたどって造られました。南与野は東を鴻沼、西を古入間川にはさまれた細長い台地にあります。道路を造るには正に適地です。

この南与野で秋の自然観察を行います。台地と低地の生き物の違いも観察できるといいですね。

1 期日 令和2年10月25日(日)

☂ 雨天、交通事情の混乱の時は中止します。

2 集合 南与野駅西口 鈴谷西公園 午前9時30分

3 解散 南与野駅 午前12時頃

4 自然観察ウォーキング 全行程約3.3km

南与野駅西口鈴谷西公園→河童の森→真鳥山城跡→日向古墳→本壘古墳
→今宮館跡→与野の大カヤ→南与野駅

※天候などにより、当日になって行程を変えることもあります。

5 持ち物

雨具、セロハンテープ、持っていれば双眼鏡、マスク

6 その他

- ・ペガサス分団活動は参加人数を把握して資料を用意する関係上、事前の申し込みをお願いしています。
- ・小学4年生以下の児童には、保護者の方の付き添いをお願いいたします。
- ・途中で先に帰る場合は年齢にかかわらず保護者の方の付き添いをお願いいたします。
- ・団体行動です。1人で行動してはいけません。1人のときはリーダーに行ってもらいましょう。
- ・危険なもの、まわりに迷惑をかけやすい物(刃物、ライター、モデルガンなど)は、もってこない。
- ・天候、交通事情、団員の健康状態等で予定を変更することもあります。